

## 第66号

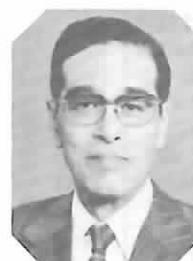
有明工業高等専門学校

〒836・大牟田市東萩尾町150

TEL 0944-53-1013

印 刷：重富オフセット

## 有明高専だより



## 新年にあたり

新年おめでとう。暮れに夢の話をしましたが、どんな初夢を見ましたか？

今日は部活と学業について話します。

本校は九州地区高専体育大会が本校が主幹校として、熊本電波、大分を分担校として開かれます。また全国大会が久留米を主幹校とし、北九州、有明を分担校として開催されます。部員諸君はこれに備えて訓練に励んでいること思います。おおいに良い成績を修めるよう努力して下さい。

昨年暮れに運動部の指導者研修会におきまして、バレーボール部の有名監督である桑鶴先生の感銘深いお話を聴きました。指導者の気配り、技術の研究、綿密なスケジュールによるスケジュールの調整等により各部員に目標と“やる気”を持たすことが、良い成績を挙げるための重要な要素であります。各部長は先生の体験による生々しいお話を深く心に受け止め体

育大会において、優秀な成果を修めるよう部員の諸君と訓練に励んで下さい。

部活におけるこのような部員の心がまえは、たんに部活にとどまらず、学業においても、また諸君が就職した職場においても、一番大切なことがあります。一芸に通ずる者は万芸に通ずると言われておりますが、これはこの様な心構えを持つて事に当たれば全て良い成果が得られると言うことになります。

この様な心構えが少なくなっています。

本機は、63年度本校に設置される予定万能試験機で通常“オート・グラフ”と呼ばれている。コンピュータ計測制御式の最新鋭材料強度試験機で、今後の活用が期待されている。

島津オートグラフ  
AG-10TA形

学受験の閑門を突破するという目的を持っております。このために

勉学のスケジュールを自ら立て、予習、復習により、スケジュールの修正をしながら目的に向かっております。これに反して、本校の現在の学生諸君は、この繰り返しの鍛錬に欠けて居ると思ひます。

若い時代のこの鍛錬の欠如は、諸君の将来に致命的な影響を与える。ご承知のごとく、1ドル120円の時代に突入しております。

工場の海外移転はさらに加速するものと思います。日本にある企業では眞の技術者のみを要求するところになると思います。従つて諸君は充分鍛錬された技術者になると

いう目的を持たなくてはなりません。

新しい年の始めにあたり、諸君が目的を持ち、今年のスケジュールを立てる事を望みます。

昭和63年1月8日

有明工業高等専門学校

校長 竹村 哲男

## 目 次

12	11
10	9
8	7
6	4
3	2
1	1

新年にあたり  
昭和63年度 研修旅行計画  
福岡県内建築設計競技入選  
飯塚市教育委員会の本校見学  
人事異動  
工場見学  
福岡県内建築設計競技入選  
飯塚市教育委員会の本校見学  
卒業予定者の進路  
昭和63年度 入学志願者数  
卒業だより  
卒業を前にして  
図書館だより  
学生会だより  
学生会だより  
新規員紹介  
学生会長に選ばれて  
役員研修  
高専体育大会  
クラブ学生表彰者一覧  
冬季球技大会  
体育系クラブ指導者研修会  
体操大会  
エッセイ  
吹奏楽部定期演奏会



# 卒業を前にして

機械工学科 六倉 清晴



遅れながら、しかも私服で入学式に出席した五年前の出来事が、悪夢のように蘇つてくる。私は中学校卒業後すぐ少年航空自衛隊に入隊し、一度は高専への進学を蹴ったが、平和と自衛の名の下に、統を持ち敵を撃つ訓練をする世界に自分の将来を委ねることが出来ず、入学式の前日に除隊したのだった。

この間、寝ずに手続き等にかけ回された両親のおかげで、何とか間に合つたのだが、学生服は既に寮に送つてあり私服姿の入学式となつたのである。

あれから五年、もう卒業である。

最初の頃は他人に負けたくないといふ気持ちと実力とのギャップに悩みながら、「成績が落ちたのは読書のしおぎだからだ。」などと自己弁護ばかりしていたが、いつの間にか、高専にも慣れ日々の生活に流れている自分に気が付いた時に、何とも云えない不安を覚え、

## 建築学科

桂城 剛



ない。

納豆の糸のようなゴムひもを。

建築学科 桂城 剛

最初の頃は他人に負けたくないといふ気持ちと実力とのギャップに悩みながら、「成績が落ちたのは読書のしおぎだからだ。」などと自己弁護ばかりしていたが、いつの間にか、高専にも慣れ日々の生活に流れている自分に気が付いた時に、何とも云えない不安を覚え、

ない。

桂城剛



# 同窓会だより

## 同窓会20周年記念祝賀会

1月2日、オオムタガーデンホテルにおいて、有明高専同窓会発足20周年記念祝賀会が、来賓、同窓生あわせて120名を超える出席のもと盛大に開催されました。

竹村哲男校長、瓜生政徳事務部長のほか、来賓として北野典爾荒尾市長、吉村虎蔵前校長、元教授の吉田照正、寺本匡謨、木本知男、下村龍太郎、勝田正男、石橋助吉先生方を、また寮生の母親役ともいえる石井美江、富崎クニさんを迎えることができました。

司会の重村栄君(C43)の開会のことばにつづき、実行委員長のあいさつのあと、塚本敏樹同窓会長(C43)が昭和43年3月に産声をあげた同窓会の今日までの歴史および今後の抱負を述べました。同窓会顧問、竹村校長からは、



同窓生諸君のこれまでの活躍が、技術大国日本の発展に着実に貢献していること、昨年より、有明高専が取り組んでいる電子情報工学科新設に対する同窓会からの協力への謝辞とともに本事業が同窓会20周年記念事業の一つになることへの希望を述べられました。また、北野荒尾市長は、大牟田・荒尾両市にとりきわめて厳しい状況の昨今にあり、年末の両市境界線問題解決、そしてこの新年の同窓会20周年祝賀会と、おめでたいことがつづき、今年は本当によい年になりそうであるとのあいさつをいただきました。さらに、吉村前校長は、先生の学生時代、ドイツ語の恩師よりの言葉「初めが難しい」を引用され、高専制度と同様、同窓会についても今日までの道のりに多くの困難がありました。今後30、40周年と経るにつれ、同窓生が中心となって益々しっかりした有明高専同窓会となつて成長していくとの希望を述べられました。

引き続き、瓜生事務部長の乾杯の音頭で祝宴に入りました。塩塚公一大牟田市長、山田澄雄同窓会副会長(M43)、同窓会関東支部長、関西支部長他からの祝電披露を原田直美君(A59)が行ないました。また主任教授の庵原、荒木、永田、吉岡先生から各学科の近況報告がなされましたが、教官、技官の新旧交代、新しい時代に対応する教育方法の模索など、やはり20年の歳月を感じさせられるものがあり

ました。宴も盛り上がるなか、すでに退官された木本知男先生、勝田正男先生、石井美江さんといった開校当初から学生と親子のような関係にあった方々から、同窓生に、それぞれ、心に残る暖かいお言葉をいただくことができました。つづいて、同窓生を代表して、上村敏雄君(M43)、樺島保博君(E47)、倉岡宣之君(C43)、堀喜美子君(A59)が卒業後の実務経験に基づいた貴重なスピーチをしてくれました。

宴は益々盛り上がり、カラオケもあり、岸川満康君(C43)の得意の“赤いハンカチ”や堀喜美子、永尾誠(A57)両君のデュエットがあり、品川尚司先生の“波浮の港”、石橋助吉先生の“大利根月夜”、吉村虎蔵前校長の“私の城下町”とボルテージもあがりました。

宴もフィナーレに近づき、参加者全員による校歌齊唱となりました。これには塚本俊介君(E50)が素晴らしいエレクトーンの伴奏をしてくれました。メインステージに吉村、竹村両先生、塚本同窓会長、実行委員長が肩を組んでの校歌でした。

中川原、犬塚君(M54)、薄井君(M58)が飛び入りで“フレー、フレー、アリアケ”的エールをしてくれ、卒業生に有明魂ここにありを再確認させてくれました。

下村先生の音頭で万歳三唱が声高らかに行なわれました。最後は、実行委員長が、素晴らしいパーティに盛り上げていただいたことにたいする参加者への感謝の言葉、また司会を快く受けていただいた重村君への謝辞を述べて閉会となりました。

以上、祝賀会の報告をさせていただきましたが、この紙面を借りて、今祝賀会に対しご賛同いただき、ご多忙中にも拘らず、多数ご出席下さいました来賓、卒業生の皆様に、重ねて御礼を申し上げます。おわりに、本会の準備の殆どを行なって下さいました品川尚司先生、また実行委員を自らお引き受けいただきました電気工学科の塚本俊介氏、建築学科の山下俊雄、上原修一両先生に対し厚く御礼を申し上げます。

実行委員長、川嶋義則(記)



# 教室通信

## 機械工学科

※次の方が結婚されました。おめでとうございます。

◎梅崎広之君 (58) ○62.10.3 結婚 (新婦利栄子さん)

〒574 大阪府大東市水野2丁目5-28 トモエハイツ3号館405号室 0720-72-2159

※新住所をお知らせします。

◎木下 実君 (62) 〒800 北九州市門司区光町2丁目1-30 093-371-1315

※正月のクラス会が下記の通り行われました

◎第6期生 (48卒) 正月3日大牟田市新栄町江戸沢で開催。出席者は、井上政博、柏村紀臣、金子政己、春田時彦、中村稔秀、日野雅夫、森田秀之、吉武佳男の諸君で、小田先生を囲んで近況報告や昔話に時を忘れる楽しい一夜でした。

◎第20期生 (62卒) 正月2日大牟田市新栄町白亀会館で開催。出席者は31名の卒業生諸君と庵原、石崎、川嶋の3名の先生方。卒業生より入社後の状況、先生方より学校の近況について報告があり、3年以内の再会を約して散会した。

## 電気工学科

### ◎同窓会

◎第12期生 (54卒) S63.1.2 大牟田新栄町「お多幸」において行われた。出席者は幹事田島正博君他10名。

◎第17期生 (59卒) S63.1.2 大牟田旭町「おやじ」において行われた。出席者は幹事塙塚和英君他20名。

◎第19期生 (61卒) S63.1.2 大牟田新栄町「白亀会館」において小沢先生を囲んで行われた。出席者は幹事中村弘行君他20名。

◎第20期生 (62卒) S63.1.2 大牟田新栄町「祭ばやし」において近藤、松野、永守、塙本、堀田の各先生、それに電気工学科事務室の牛島さんを囲んでなごやかに行われた。出席者は幹事石藏貴君他24名。

※次の方々が結婚されました。おめでとうございます。

◎宮本英樹君 (50卒) ○62.12.13 奈良 (新婦成美さん)

○〒730 広島市中区白島中町11-4-304 082-223-6901

◎高山尚樹君 (56卒) ○62.11.14 奈良 (新婦多加代さん)

○〒535 大阪市淀川区新森2丁目14-14 三洋社宅308

06-955-6443

※学校来訪者 (敬称略)

古賀みのる(54)、水元雄二(61)、山田昌光(61)、今村道夫(62)、藤井 司(62)

## 工業化学科

※同窓生の転職・転居をお知らせします。

◎武田哲也君 (49) □転居 〒292 木更津市清見台南2丁目9番 日鉄不動産 清見台アパートD棟204号

0438-98-0479

◎松本辰男君 (50) □転居 〒572 寝屋川市打上271の2 東1~602号

◎濱石義公君 (51) □転居 〒868-05 球磨郡多良木町大字黒肥地1544番の2 0966-42-2960

◎山田真澄君 (52) □転居 〒814 福岡市城南区金山団地4-401 092-864-9979

◎岡田博之君 (53) □転居 〒300-11 茨城県稲敷郡阿見町荒川本郷2131-2

◎中村 浩君 (54) □転居 鹿児島市山田町2560-15 皇徳寺ニュータウン 0992-65-3266

◎福井理作君 (54) □転居 〒855 長崎県島原市壱南2-511棟-12号 0957-63-5123

◎内田祐子君 (54) □転居 川崎市宮前区けやき平1番グリーンハイツ1-203

◎境 宏之君 (54) □転居 〒861-11 熊本県菊池郡西合志町須屋1397の6 コーポファミユ201号 096-345-9509

◎黒田規嘉志君 (55) □転居 〒416 静岡県富士市中丸61の3 旭化成秀峰寮

## 建築学科

◎松原征男技官に長女が誕生されました。おめでとうございます。名前は千枝ちゃん

※次の方々が結婚されました。おめでとうございます。

◎松本憲二君 (54) ○ (新婦晴代さん) 荒尾市荒尾字井川浦1571年田ガーデンハイツB-202 09686-4-1359

◎新谷秀生君 (60) ○ (新婦貴久子さん)

◎平山達也君 (59) ○ (新婦里美さん) 大牟田市橋998-1 フォブル川原2号101 0944-58-4876

◎栗原亮一君 (58) ○ (新婦富美さん) 〒271 千葉県松戸市上本郷300 西松建設松戸寮B-206 0473-63-9368

※同窓生の転勤・転職・転居をお知らせします。

◎長尾祐司君 (59) □転職 大和ハウス販売北九州営業所

◎学校来訪者 (敬称略) 牛島昌弥、中西寿人、竹山勝則、今岡昭智、内野治朗、今村剛、坂田正信、松山裕之、中山勝巳(62)、岡啓輔、岩永浩、森雅和、末松健二(61)、江器智子(60)、堀喜美子、原田直美(59)、山田幸生(57)、樋口英郎(55)。



知識の凍結化の速度におもう

昨年8月、電気学会が「電・分野教育の現状と問題点」という優れた技術報告を出した（注）。そのなかに、NECが昭和53年に大卒に対してもおこなった、「大学時代に教わった知識が陳腐になつたと感じる時期はいつごろか」という興味深い調査結果が紹介されている。

これによると、昭和30年代卒業生は半数以上が入社後11～12年たつてこのことを感じており、10年

須藤修一  
教えられようか。基礎を固めさせることこそ大事だと考える。  
(2) 逆に、高専で習ってきたことに対し何年も陳腐化を感じさせないような企業はこのハイテク時代、先が知れているように思う。  
(3) 仮に卒業生諸兄にして学校で習ったことがいつまでも役に立つような状態にあるならば、それに満足せずに新しい分野に挑戦して自らの能力を抜け出で欲しい。例えども、零用金などいろいろ

えたとする。ところが5年生の時  
間割りはすぐには変わらない。5  
年後にして始めて変わるので。そ  
してやっと新カリキュラムの評議  
が始まるという空氣である。

また電気主任技術者というのが  
ある。この免状申請に必要な科目  
についても通産省側の制約が多く、  
教育内容が硬直化する一大原因と  
なっている。このことはいろいろ  
な機会に多くの関係者から指摘さ  
れているにもかかわらず一向に改  
まらない。優秀なる通産官僚のお  
仕事とはとても思えない現状であ

「数学、物理学、第一外国语（英語）」「電磁気学、電気回路、電磁気測定、基礎実験」「強電基盤（電気機器学基礎、制御工学など）」、「通信・情報・デバイス関係（論理回路、電子計算機、電子回路など）」、「電気工学実験」「電力工学（送配電、電力系統工学など）」、「電気機器・パワー・エレクトロニクス、電気材料、制御・システム工学、卒業論文」（「」は分類の区切り。詳細省略）。

第19回吹奏楽部定期演奏会を終えて

吹奏樂部部長 4 A 小宮国枝

# 知識の陳腐化の速度におもう

須藤修一

えたとする。ところが5年生の時  
間割りはすぐには変わらない。5  
年後にして始めて変わるので。そ  
してやっと新カリキュラムの評価  
が始まるという春気さである。

また電気主任技術者というのが  
ある。この免状申請に必要な科目  
についても通産省側の制約が多く、  
教育内容が硬直化する一大原因と  
なっている。このことはいろいろ  
な機会に多くの関係者から指摘さ  
れているにもかかわらず一向に改  
まらない。優秀なる通産官僚のお  
仕事とはとても思えない現状であ  
る。

これでは学生に申し訳ないでは

「数学、物理学、第一外国語（英語）」「電磁気学、電気回路、電磁気測定、基礎実験」「強電基盤（電気機器基礎、制御工学など）、通信・情報・デバイス関係（論理回路、電子計算機、電子回路など）、電気工学実験」「電力工学（送配電、電力系統工学など）、電気機器・パワー・エレクトロニクス、電気材料、制御・システム工学、卒業論文」（「」は分類の区切り。詳細省略）。もちろん大学と高専の違いはある。しかし企業が望んでいるもの。



第19回 有朋有惠的臺灣新官時代

昭和63年3月5日

有明高専だより

(1) まず学校教育はいかにあるべきかということ。私は基礎に徹するべきであると考える。誤解のないように願いたいのだが、先端技術を無視せよというのではない。先端技術を教えるにしても、その基礎を教えるべきだというのである。第一本校の置かれた立地条件

ふ所と心得るへきてある。  
だからといって私は旧態然として  
た講義のままでも良いといつては  
のではないから、念のため。  
(5) つぎに学校(行政)側の体勢  
について述べる。とにかく対応が  
遅い。もっとダイナミックな動き  
ができないものかとしみじみ思う。  
例を二つほどあげよう。

機器をすべて輸入していた頃ではないか。わち電磁気理論を懸命に学習して、いた時代なれば知らず、今時こんな意見があるとは、驚いた。

さてこの技術報告では、企業側から見た「大学学部における強電・弱電分野教育科目に対する必要度」について調査している。このうち半数以上の企業が絶対必要としたも

私達吹奏楽部は去る1月30日(土)午後6時より大牟田文化会館大ホールにて第19回定期演奏会を開催しました。

OBを交えての盛大な演奏会を1下旬に行う予定です。この高専よりを読まれた方、先生方、学年の皆さん、ぜひ御来場下さい。

最後になりましたが、この演奏会を開催するにあたって、御尽くさった方々に、部員一同と共に心より御礼申し上げます。また後とも暖かい御支援のほどよろ